

作成日：2018年10月15日

タイトル

2004年4月から2018年3月までに前立腺癌の病理検査や手術を受けられた方へ

保存された前立腺癌病理検体を用いて「前立腺癌の発生・進展・予後に關わる因子の免疫組織化学的解析」を検討することについての説明文書

臨床研究課題名：前立腺癌の発生・進展・予後に關わる因子の免疫組織化学的解析

1. この研究を計画した背景

私たち実験病態病理学教室は、マウスやラットなどを用いて発がん機構を解明する研究を行っています。その中でも前立腺癌に関してラットを用いた研究から、前立腺癌の発癌や進展に関わるメカニズムの解明や、前立腺癌に対する化学予防薬の検討を行ってきました。

2. この研究の目的

私たちは動物実験や細胞を用いた実験で新たに見つけることができた因子をヒトの前立腺癌で検討することによって、今後の治療、診断マーカーとしての応用を考えております。そのため、その因子のタンパク発現の有無と臨床学的な特徴について解析します。

なお、この研究は、以下研究者によって本院にて実施しています。

研究責任者： 診療科名 病理診断科 氏名 加藤 寛之

3. この研究の方法

2004年4月から2018年3月までに、当院にて前立腺の針生検を行い前立腺癌と診断された方、または前立腺全摘除手術を施行された方から採取された前立腺癌の病理標本を用います。その中から適切な検体を病理医によって選択し、前立腺癌に関わる因子のタンパクに対する抗体を用い免疫染色を行います。それらの因子の発現強度を検討して、臨床病理学的に解析します。尚、この研究により個人の情報が外部に漏ることはございません。

4. この研究に参加しなくても不利益を受けることはありません。

この臨床研究への参加はあなたの自由意思によるものです。この臨床研究にあなたの保存資料（過去の診療録、検体など）を使用することについて、いつでも参加を取りやめることができます。途中で参加をとりやめる場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。

5. あなたのプライバシーに係わる内容は保護されます。

研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがあります。しかし検体などは匿名化した番号で管理されるため、得られたデータが報告書などあなたのデータであると特定されることはありませんので、あなたのプライバシーに係わる情報（住所・氏名・電話番号など）は保護されます。

6. 得られた医学情報の権利および利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究に関わる研究者は「厚生労働科学研究における利益相反 (Conflict of Interest : COI) の管理に関する指針」を遵守し、研究者の所属機関の規定に従って COI を管理しています。

7. この研究は必要な手続きを経て実施しています。

この研究は、公立大学法人 名古屋市立大学大学院 医学研究科長および名古屋市立大学病院長が設置する医学研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は臨床試験に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、実施することが承認されています。またこの委員会では、この試験が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかる規程等は、以下、ホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”
<http://ncu-cr.jp/patient>

8. 本研究について詳しい情報が欲しい場合の連絡先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究にあなたご自身のデータを使用されることを希望されない方は、ご連絡ください。

なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合があります。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター

連絡先 平日（月～金） 8:30～17:00 TEL(052)858-7215